

2026年3月期第2四半期（中間期） 決算説明資料

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

2025年10月31日



（東証グロース：7774）

目次

1. 第2四半期（中間期）決算概況	---	2
2. 事業別詳細	---	11
3. 参考資料	---	17

2026年3月期第1四半期決算資料より、ラボサイトのブランドを訴求した事業展開をさらに強化・発展させ、事業内容をより明確に表現するため、報告セグメント名称「研究開発支援事業」を「ラボサイト事業」に変更しています

【用語の説明】

ジェイス	患者の皮膚組織を採取し、分離した細胞を培養して製造された自家培養表皮（再生医療等製品）
ジャスミン	患者の皮膚組織を採取し、分離した細胞とメラノサイト（色素細胞）を培養して製造された自家培養表皮（再生医療等製品）
ジャック	患者の軟骨組織を採取し、分離した細胞を培養して製造された自家培養軟骨（再生医療等製品）
OA	変形性関節症
ネビック	患者の角膜輪部組織を採取し、分離した細胞を培養して製造された自家培養角膜上皮（再生医療等製品）
オキュラル	患者の口腔粘膜組織を採取し、分離した細胞を培養して製造された自家培養口腔粘膜上皮（再生医療等製品）
ラボサイト	実験動物を用いた皮膚刺激性試験等の各種試験に代用可能な研究用ヒト培養組織
EpiSensA （エピセンサ）	ラボサイトを使用して行う皮膚感作性試験法で、経済開発協力機構（OECD）ガイドラインに世界的な標準的試験法として収載

1. 第2四半期（中間期）決算概況

2026年3月期 第2四半期（中間期）の業績

- ✓ 売上高は、再生医療製品事業及び再生医療受託事業の売上減少に伴い、998百万円（前年対比△163百万円）
- ✓ 営業損益は、△376百万円（前年対比△168百万円）

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2025年3月期	2026年3月期			
	2Q累計実績	2Q累計実績	対前年同期 増減額	増減率	通期計画 2025.4.30開示
再生医療製品事業 売上高	743	633	△109	△14.8%	1,770～1,970
皮膚領域（ジェイス、ジャスミン）	477	381	△96	△20.2%	1,130
軟骨領域（ジャック）	202	203	0	0.3%	400～600
角膜領域（ネピック、オキュラル）	62	49	△13	△21.8%	240
再生医療受託事業 売上高	309	227	△82	△26.6%	810
一般顧客受託（親会社以外からの受託）	201	106	△95	△47.3%	430
帝人受託	107	121	13	12.3%	380
ラボサイト事業 売上高	109	137	28	26.3%	320
売上高合計	1,161	998	△163	△14.0%	2,900～3,100
売上総利益	671	542	△128	△19.2%	-
販売費及び一般管理費	878	918	39	4.5%	-
営業損益	△207	△376	△168	-	100～200
経常損益	△206	△369	△162	-	110～210
四半期純損益	△225	△371	△146	-	100～190

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算のポイント（実績）

2Q（7-9月）実績

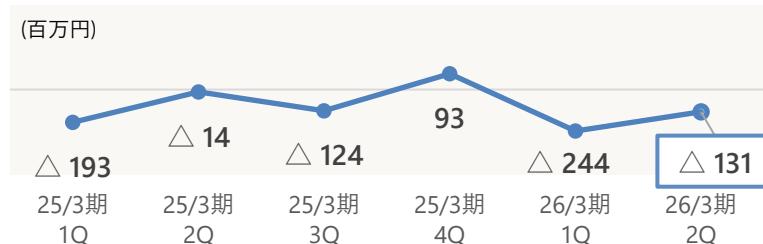
- ✓ 2Qは1Q対比で全事業で増収を達成、営業損益は改善

（△244百万円→△131百万円）

2Q累計実績

- ✓ 2Q累計は前年同期比ではラボサイト事業がプラスとなったが、ジェイス熱傷の1Q不調（中止率増）、受託での前期の一時収入分が今期ゼロによる影響で、減益（△207百万円→△376百万円）
- ✓ 当社計画比では、ジャスミン（一部医療機関の導入遅れ）とネピック・オキュラル（新規患者の伸び悩み）で進捗遅れ、挽回に注力

営業損益推移（四半期）



2Q累計営業損益増減（前年同期比）

(百万円)



成長施策に関する進捗状況

再生医療 製品事業	皮膚領域	✓ ジャスミン 拠点施設の拡大が順調に進捗（1Q 3施設→2Q 8施設） Webを活用した患者啓発活動により治療対象の患者からの問い合わせが増加中 ✓ ジェイス 直近では復調傾向 ✓ Allo-JaCE03*1 2026/3期中の承認申請を目指し、順調に進捗中 ✓ きずときずあとのクリニック®との連携により、自由診療でのリストカット痕治療の培養表皮提供継続
	軟骨領域	✓ ジャックOA適応拡大 今期3Qの保険収載を目指し、厚生労働省との協議が着実に進捗 保険収載後の提供体制の構築も順調に進捗
	角膜領域	✓ ネピック・オキュラル 既存施設での新規患者の伸び悩みに対して、新規施設の開拓や潜在患者への治療啓発を推進、角膜移植数全国トップクラスの新規施設で採用されるなど成果が現れている
	新規領域	✓ 自家CAR-T細胞*2 急性リンパ性白血病に対する医師主導治験が進捗中
再生医療受託事業		✓ 既存顧客への役務提供が着実に進展 ✓ AlliedCel株式会社と開発品の商用生産に向けた業務委受託契約を締結 ✓ 経済産業省「再生医療CDMO補助金」に採択され、施設・設備拡張の具体化が進捗
ラボサイト事業		✓ 国内外の新規顧客を順調に獲得 ✓ 新規製品である研究用腸管上皮モデルの技術移管を7月から開始

*1 開発中の同種（他家）培養表皮で、わが国で初となる他人の皮膚組織を原材料とした同種由来製品

*2 名古屋大学・信州大学と特許ライセンス契約を締結した、CD19陽性の急性リンパ性白血病の治療を目的とした、低コストで製造できる自家CAR-T細胞由来治療薬開発

下期挽回策

- ✓ 上期実績の出遅れはあるが、下期挽回策を着実に遂行し、年間営業損益100～200百万円を目指す
（見通しに変更無し）

下期 挽回策

再生医療製品事業

- ジャックOAの保険収載（3Q中）後の垂直立ち上げ
- ジャスミンの使用施設の追加（年度末までに20施設）および患者啓発活動による受注増加
- ジェイス熱傷は過去の受注傾向から、下期にかけて受注件数増加を見込む
- ネピック・オキュラルの新規施設の継続使用による受注増加

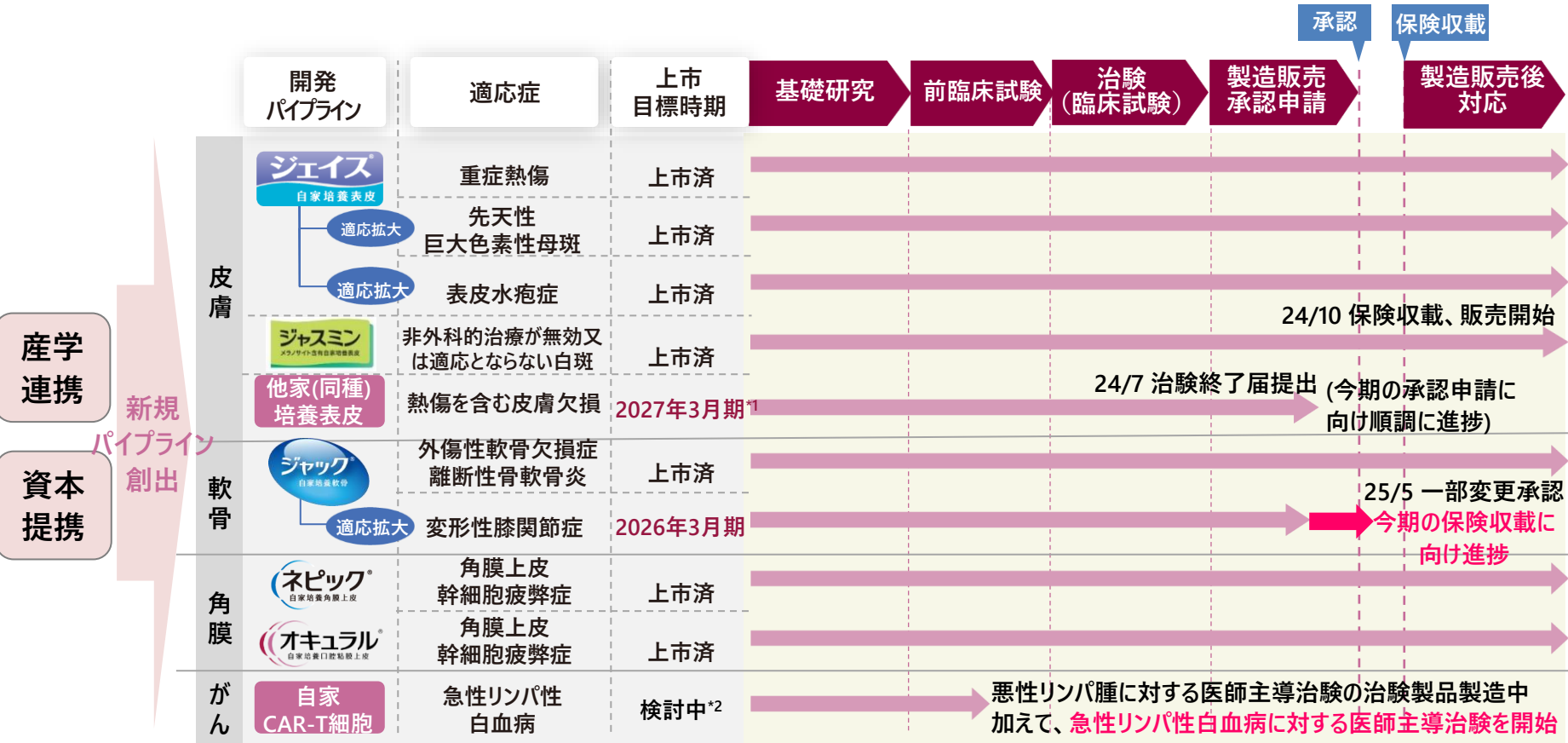
再生医療受託事業

- 新規顧客への役務提供
- 帝人からのマイルストーン収入の計上

ラボサイト事業

- 海外の販売拡大（欧州での定期購入数8社目標）
- 需要に対応するため、欧州拠点の設立を検討中

開発パイプラインの上市目標



*1 開発遅延に伴う上市時期見直し *2 治験を当社主導ではなく医師主導で実施することとなり、全体スケジュールを検討中の為

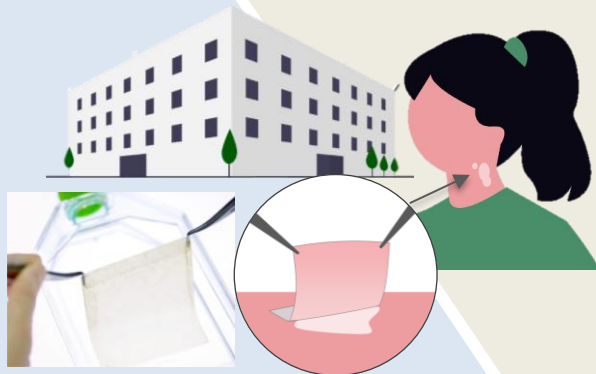
ジャスミンの拡販策

- ✓ 当社製品であるジャスミンを使用した白斑の治療を行うことができる拠点医療機関が順調に増加中
- ✓ 患者・医療関係者向けに情報提供を強化するため、専用ページを刷新し周知活動を実施



ジャスミンを用いた白斑治療が
実施できる 拠点病院の増加

東京都	・東京医科大学 ・慶應義塾大学病院 ・日本大学医学部附属板橋病院
神奈川県	・横浜市立大学附属病院
愛知県	・名古屋市立大学病院 ・蒲郡市民病院
大阪府	・大阪大学医学部附属病院
大分県	・大分大学医学部附属病院



ジャスミンを用いた治療をわかりやすく解説する
特設サイトを新規開設

治療の流れ、費用、対象患者などを
図解でわかりやすく紹介



AlliedCel社と業務委受託契約を締結

- ✓ AlliedCel株式会社が開発中の「誘導型抑制性T細胞（開発名「JB-101」）」について、**上市後の製品製造をJ-TECが受託することを前提とした、技術移管に向けた業務委受託契約を締結**
- ✓ 今般の契約に基づき、**製造プロトコルの理解や技術移管に向けた課題抽出などの初期調査**を行い、その後、別途契約を締結した上で技術移管計画に沿って円滑な技術移管を実現し、同製品の上市後の生産体制の整備を進める

AlliedCel



契約

J-TEC

JB-101

- 臓器移植後の免疫拒絶反応を抑制し、移植患者が生涯継続して内服する必要がある免疫抑制剤からの離脱をサポートする再生医療等製品
- 臓器移植後の合併症や感染症などのリスクを低減するだけでなく、移植臓器の生着率向上が期待
- 2020年には厚生労働省「先駆け審査指定制度」の対象品目に指定

JB-101 開発中

製品開発

今後の展望

技術移管

承認取得
市販

製造委託

製品提供

- これまでの安定供給の実績に基づく技術と知見が貢献できることにより、商用生産を前提とした技術移管に向けた業務委受託契約の締結に至った
- 製造プロトコルの理解や技術移管に向けた課題抽出などの初期調査を実施
- その後、別途契約を締結した上で、技術移管計画に沿って円滑な技術移管を実現し、同製品の上市後の生産体制の整備を進める

海外販路開拓支援事業補助金の採択に関するお知らせ

- ✓ 愛知県が公募した「海外販路開拓支援事業補助金」に採択
- ✓ 新たな海外販路開拓を支援するための補助金であり、当社が採択されたのはギリシャで行われた展示会
- ✓ 海外においては、本格的に欧州への海外展開を進めるために人員増強を行うことで、顧客数を伸ばしていく

EUROTOX 2025（第59回 欧州毒性学会議）に出展

海外販路開拓支援補助金

補助内容

一定の要件を満たす展示会等

補助率上限額

補助対象経費の3分の2、
上限50万円

→
補助金の
活用



2. 事業別詳細

再生医療製品事業：皮膚領域（ジェイス・ジャスミン）

自家培養表皮ジェイス

- ✓ 熱傷では、1Qにおいて中止率の上昇が響き受注が減少、2Qの受注は回復傾向
- ✓ 先天性巨大色素性母斑では、新たな併用療法の対象患者が一巡し受注が減少したが、治療成績を評価し、普及に向けた施策を推進

メラノサイト含有自家培養表皮ジャスミン

- ✓ 一部医療機関での導入準備に時間を要したが、拠点施設の拡大と患者啓発活動により、下期にかけて受注は増加傾向
- ✓ 拠点施設の全国展開を加速するとともに、認知度向上のため、Webを活用した情報発信・啓発活動を強化

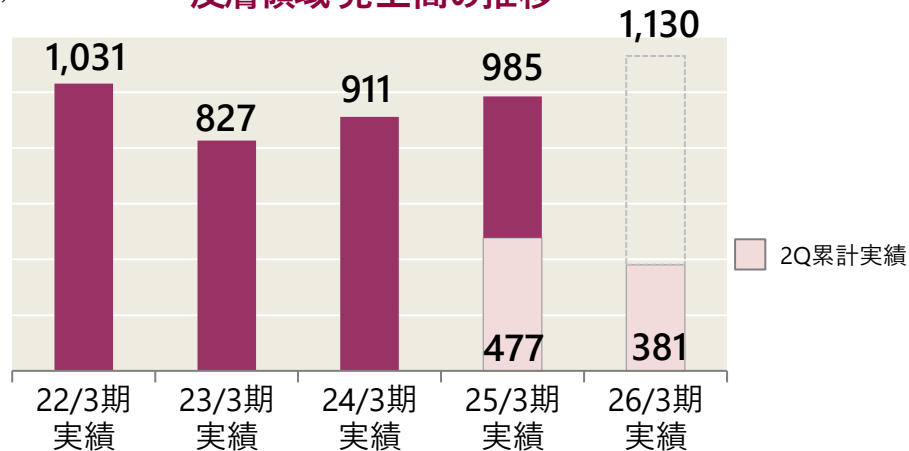
自由診療展開

- ✓ きずときずあとのクリニック®との連携により、自由診療でのリストカット痕治療の培養表皮提供が継続



(百万円)

皮膚領域 売上高の推移

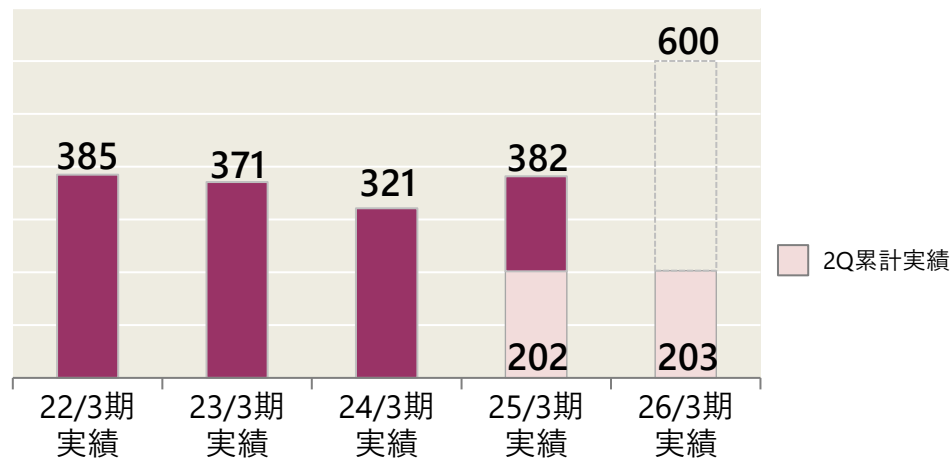


再生医療製品事業：軟骨領域（ジャック）

- ✓ 変形性膝関節症への適応拡大に向け、2026年3月期第3四半期中の保険収載を目指して、厚生労働省との協議を着実に進捗
- ✓ 保険収載後に速やかに製品提供が開始できるよう、有効性・安全性を訴求する医療機関への説明会等も順調に進捗

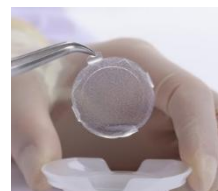
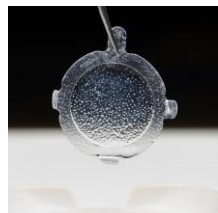
（百万円）

軟骨領域 売上高の推移



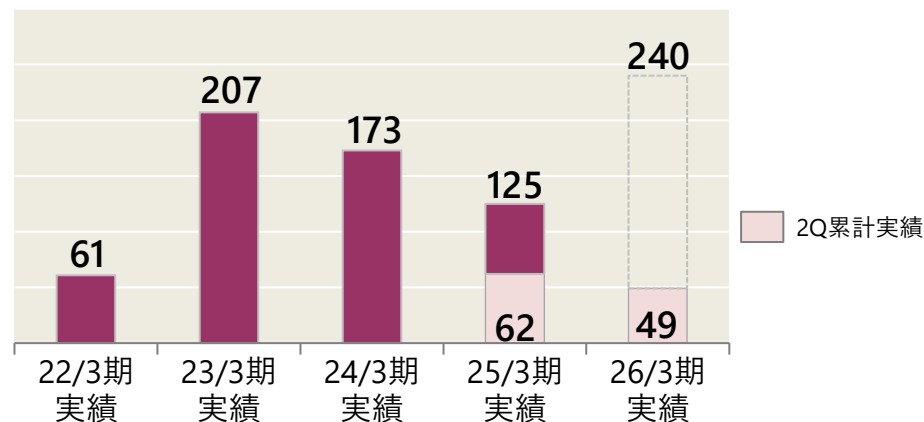
再生医療製品事業：角膜領域（ネピック・オキュラル）

- ✓ 新規患者候補の伸び悩みにより受注が減少
- ✓ 販売を担う株式会社ニデックとの連携により、角膜専門医への治療啓発を進めている
- ✓ 角膜移植で全国トップの実績を誇る新規医療機関で採用されるなど成果が発現
- ✓ 候補施設の開拓や潜在患者への治療啓発を進め、受注回復を目指す



(百万円)

角膜領域売上高の推移



再生医療受託事業

一般顧客からの受託

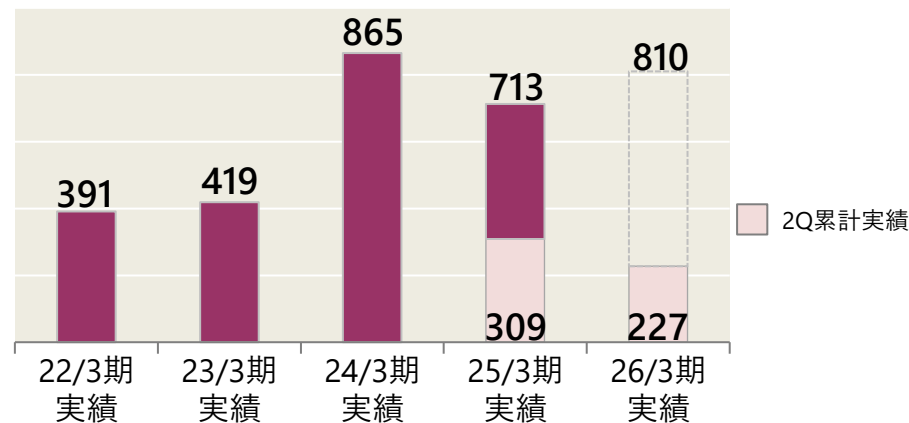
- ✓ 前期計上した特定顧客からの一時収入が無くなった影響で減収
- ✓ アクチュアライズ株式会社では国内第Ⅱ相臨床試験における被験者への投与を完了
- ✓ 株式会社VC Cell TherapyとはiPS細胞を用いた再生医療等製品の実用化に向けた資本業務提携を行い、受託を開始
- ✓ 株式会社メトセウとは、機能的単心室症を対象とする再生医療等製品の治験製品製造に関する契約を締結し、受託を開始
- ✓ AlliedCel株式会社が開発中の「誘導型抑制性T細胞」について、上市後の製品製造を当社が受託することを前提とした業務委受託契約を締結

帝人関連

- ✓ 帝人との協業が進展しており増収
- ✓ 2025年7月、当社・帝人リジェネット株式会社が共同で、経済産業省が実施する「再生医療CDMO補助金」に採択、施設拡張計画が進捗中

(百万円)

再生医療受託事業 売上高の推移

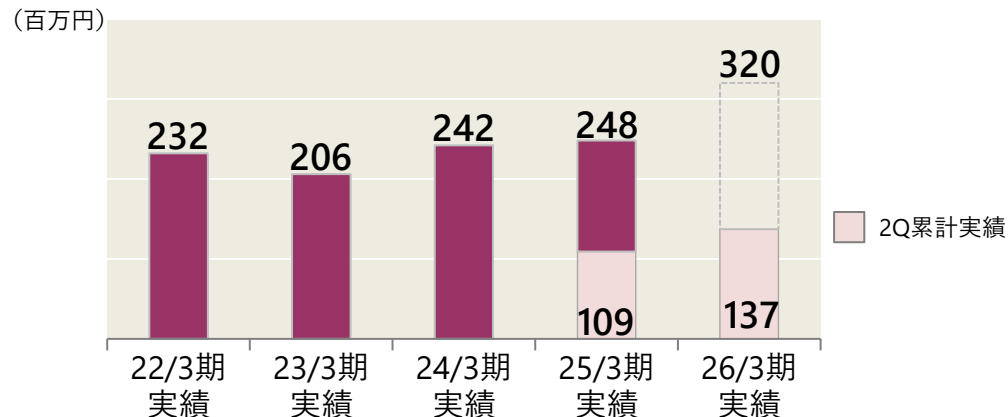


ラボサイト事業

- ✓ 欧州では、EpiSensA（エピセンサ）への関心が高く、顧客数が着実に拡大、本格展開に向けて人員を増強中
- ✓ インドでは、表皮モデルに加え、角膜モデルへの関心も高まりつつあり、現地ニーズに応じた営業活動を積極的に展開
- ✓ 国内では、EpiSensAの技術講習会による手技指導に加え、帝人構造解析センターとの連携による体制強化を行い、受注拡大
- ✓ 新規製品である研究用腸管上皮モデルについては、大阪大学からの技術移管を開始し、製品ラインアップの充実を図る



ラボサイト事業売上高の推移



3. 参考資料

2026年3月期 上半期 リリース一覧

リリース日付	内容
4月3日	再生医療イノベーションフォーラム（FIRM）の再生医療等製品CDMO企業リストに掲載
4月15日	豊橋技術科学大学との包括的な連携に関する協定締結へ
5月13日	自家培養軟骨「ジャック」が変形性膝関節症への一部変更承認取得
5月20日	資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ
5月21日	一般社団法人Medical Excellence JAPANのニュースレターで紹介されました
6月2日	柏の葉「再生医療プラットフォーム」ホームページがOPENしました
6月13日	AXIA EXPO 2025（新あいち創造研究開発展2025）に参加しました
6月17日	インターフェックスWeek東京（再生医療EXPO）に出展します
6月18日	大阪・関西万博において再生医療に関する展示・体験イベントを開催します
7月1日	報告セグメントの名称変更に関するお知らせ
7月23日	再生医療CDMOに関する補助金の採択と事業基盤の強化
7月31日	ラボサイト製品を用いた皮膚刺激性試験法が国際規格「ISO 10993-23」に収載
9月18日	「海外販路開拓支援事業補助金」の採択に関するお知らせ
9月25日	J-TEC CDMOセミナー2025開催のお知らせ

2026年3月期 第2四半期（中間期）のセグメント別営業損益

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示)	営業損益			要因
	2025年3月期 2Q累計実績	2026年3月期 2Q累計実績	増減額	
再生医療製品事業	109	0	△109	主にジェイスの受注減少
再生医療受託事業	135	116	△18	特定顧客の前期一時収入が今期ゼロ等
ラボサイト事業	29	42	12	海外展開の本格化
調整額	△482	△535	△53	Allo-JaCE03開発費の増加等
合計	△207	△376	△168	

貸借対照表・キャッシュフローの概要

単位：百万円
(百万円未満切捨て表示)

2025年3月期
2025年3月31日

2026年3月期
2025年9月30日

増減額

流動資産	4,824	4,469	△355
固定・繰延資産	1,688	1,632	△55
資産計	6,512	6,102	△410
流動負債	637	616	△20
固定負債	50	32	△18
負債計	687	648	△39
資本金	4,958	3,997	△961
資本準備金	2,788	1,827	△961
利益剰余金	△1,922	△371	1,550
純資産	5,825	5,453	△371
負債・純資産合計	6,512	6,102	△410

単位：百万円
(百万円未満切捨て表示)

2025年3月期
2Q累計実績

2026年3月期
2Q累計

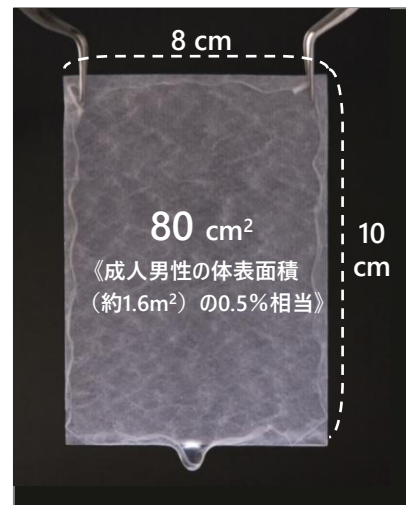
営業活動によるキャッシュ・フロー	△186	△150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	-
現金及び現金同等物の増減額 (△：減)	△229	△156
現金及び現金同等物の期首残高	2,066	1,685
現金及び現金同等物の期末残高	1,836	1,528

当社の再生医療等製品

✓ 当社の再生医療等製品は、**すべて国からの製造販売承認を取得し、保険診療のもとで提供**

製品	自家培養表皮 	自家培養軟骨 	自家培養角膜上皮 	自家培養口腔粘膜上皮 	メラノサイト含有自家培養表皮 
	国内第1号の再生医療等製品	日本発の技術による国内第2号の再生医療等製品	眼科領域で国内初の再生医療等製品	眼科領域で2つ目の再生医療等製品	患者さんが多い白斑治療用再生医療等製品
承認取得 保険収載	2007年10月 2009年 1月	2012年 7月 2013年 4月	2020年 3月 2020年 6月	2021年 6月 2021年 12月	2023年 3月 2024年 10月
適応対象	① 重症熱傷 ② 先天性巨大色素性母斑 ③ 栄養障害型表皮水疱症及び接合部型表皮水疱症	① 膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎 ② 変形性膝関節症	角膜上皮幹細胞疲弊症	角膜上皮幹細胞疲弊症	非外科的治療が無効又は適応とならない白斑
保険 償還価格	✓ 採取・培養キット 4,460千円 ✓ 調製・移植キット 154千円 / 枚	✓ 採取・培養キット 1,000千円* ✓ 調製・移植キット 1,890千円*	✓ 採取・培養キット 4,280千円 ✓ 調製・移植キット 5,470千円	✓ 採取・培養キット 4,280千円 ✓ 調製・移植キット 5,470千円	✓ 採取・培養キット 4,460千円 ✓ 調製・移植キット 154千円 / 枚
技術 導入元	米ハーバード大学 Howard Green 教授	広島大学 越智 光夫 教授	伊モデナ大学 G Pellegrini教授・ M De Luca教授	大阪大学 西田 幸二 教授	伊モデナ大学 G Pellegrini教授・ M De Luca教授

自家培養表皮ジェイス



適応対象

① 重症熱傷

受傷面積として深達性Ⅱ度及びⅢ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象

② 先天性巨大色素性母斑

母斑面積が体表面積の5%以上の治療など、既存の標準的な治療では母斑の切除に対応しきれない場合に適用

③ 栄養障害型表皮水疱症及び接合部型表皮水疱症

4週間程度持続しているびらん・潰瘍及び潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・潰瘍に対して適用

保険償還価格

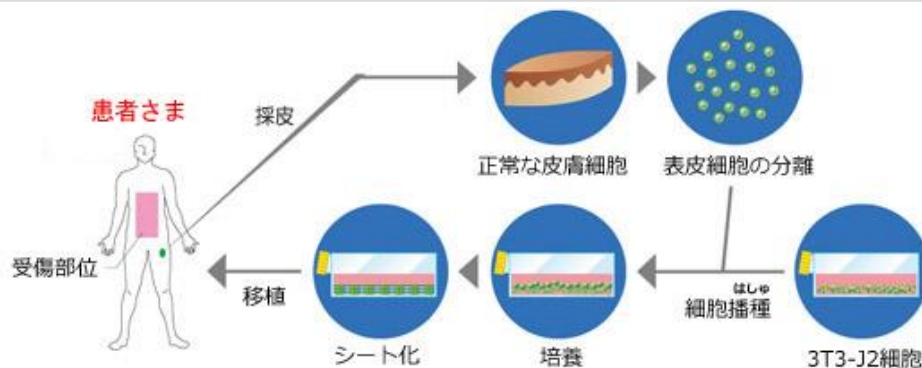
① 採取・培養キット：4,460千円

② 調製・移植キット：154千円/枚

算定限度：40枚（熱傷）ただし、医学的に必要がある場合は、その理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載した上で50枚を限度として算定できる。30枚（母斑）、50枚（表皮水疱症）

技術導入元

米ハーバード大学 Howard Green 教授



自家培養軟骨ジャック



適応対象

① 膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎の臨床症状の緩和。ただし、他に治療法がなく、かつ軟骨欠損面積が4cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る

② 変形性膝関節症

に対する臨床症状の緩和。ただし、運動療法等の保存療法により臨床症状が改善せず、かつ軟骨欠損面積が2cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る

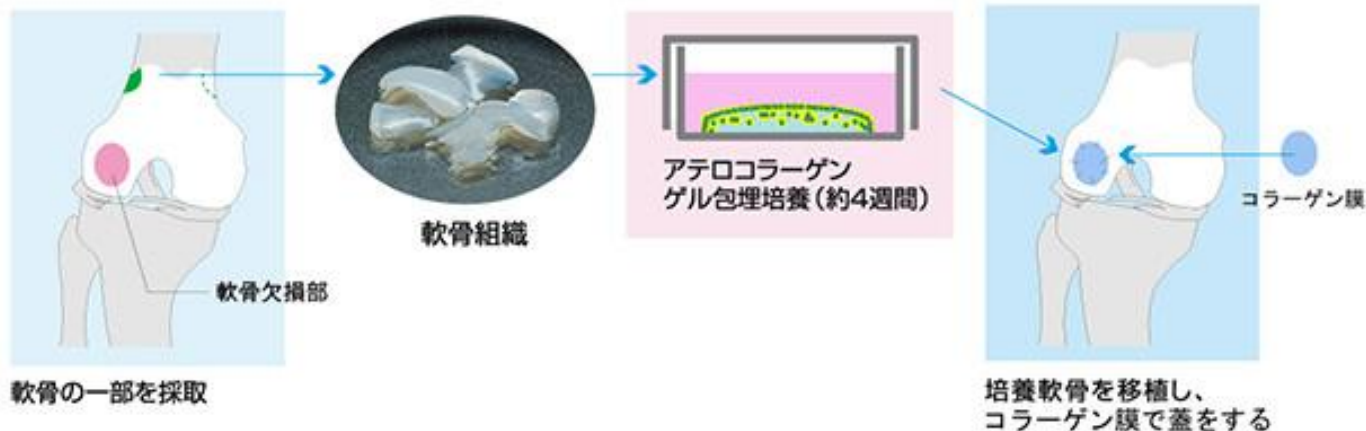
保険償還 価格

① 採取・培養キット：1,000千円

② 調製・移植キット：1,890千円（使用した個数に係らない）

技術導入元

広島大学 越智 光夫 教授



自家培養角膜上皮ネピック



販売：株式会社ニデック



適応対象

角膜上皮幹細胞疲弊症

ただし、以下の患者を除く

- ・スティーヴンス・ジョンソン症候群の患者
- ・移植片対宿主病の患者
- ・再発翼状片の患者
- ・眼類天疱瘡の患者
- ・無虹彩症等の先天的に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患の患者
- ・特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症患者

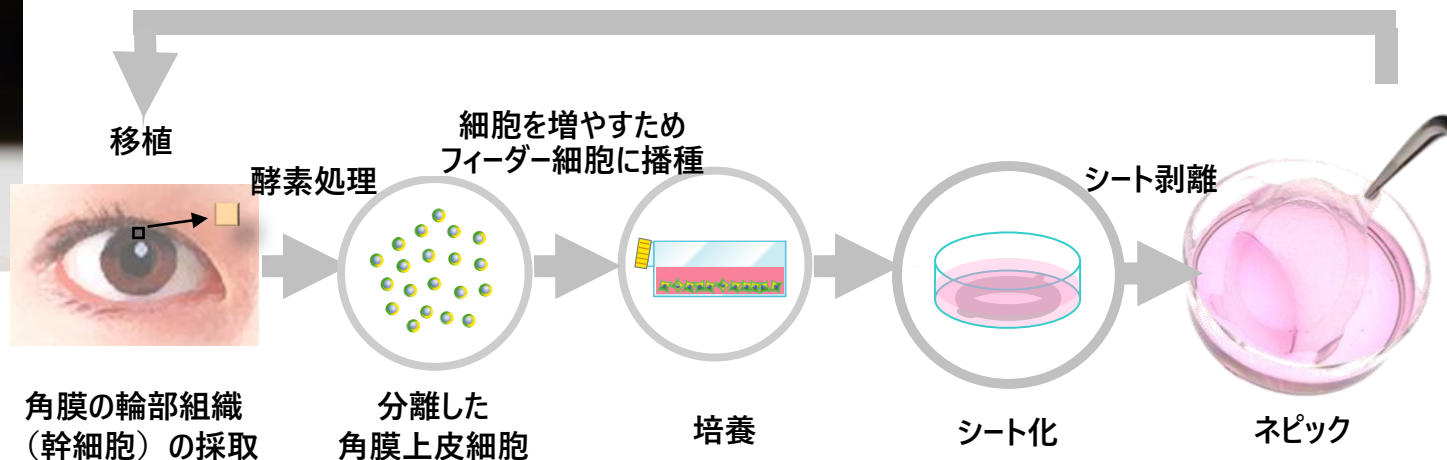
保険償還
価格

① 組織運搬セット：4,280千円

② 培養角膜上皮パッケージ：5,470千円

技術導入元

伊モデナ大学 G. Pellegrini教授・M. De Luca教授



自家培養口腔粘膜上皮オキュラル



販売：株式会社ニデック



適応対象

角膜上皮幹細胞疲弊症

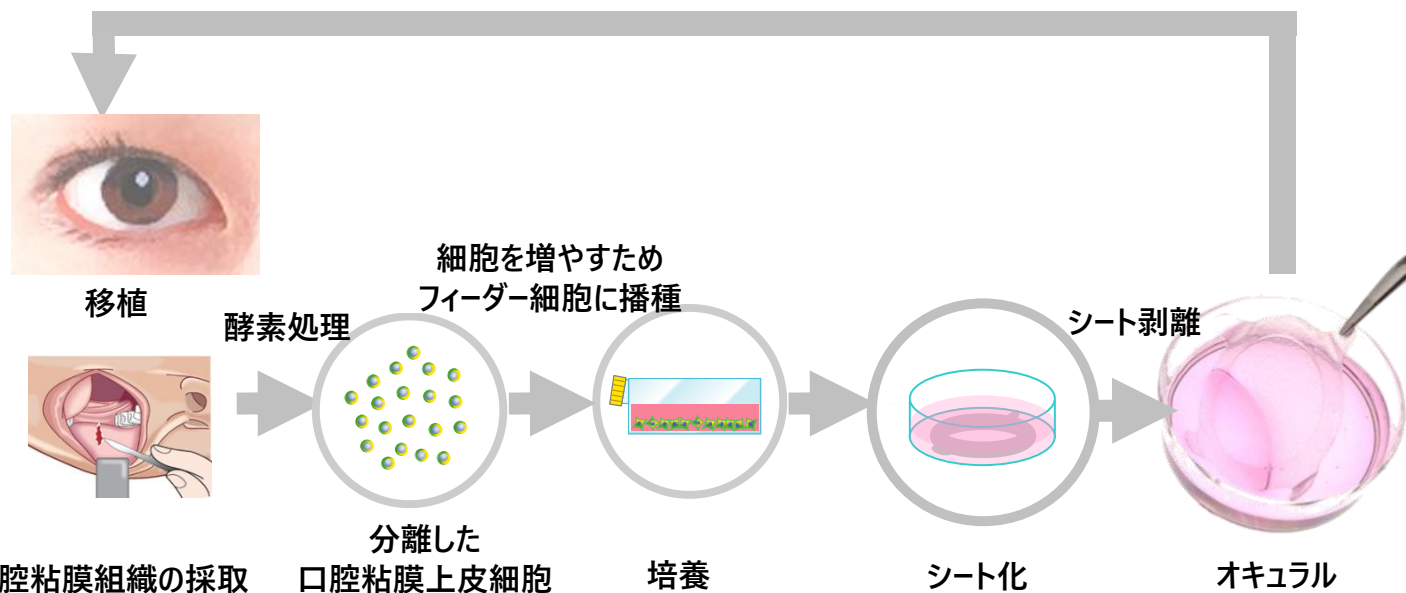
保険償還
価格

① 組織運搬セット：4,280千円

② 培養角膜上皮パッケージ：5,470千円

技術導入元

大阪大学 西田 幸二 教授



メラノサイト（色素細胞）含有自家培養表皮ジャスミン



適応対象

非外科的治療が無効又は適応とならない白斑

12ヶ月程度症状が固定した尋常性白斑、Vogt-小柳-原田病若しくは化学物質による完全脱色素斑、又はまだら症などの先天性異常による完全脱色素斑

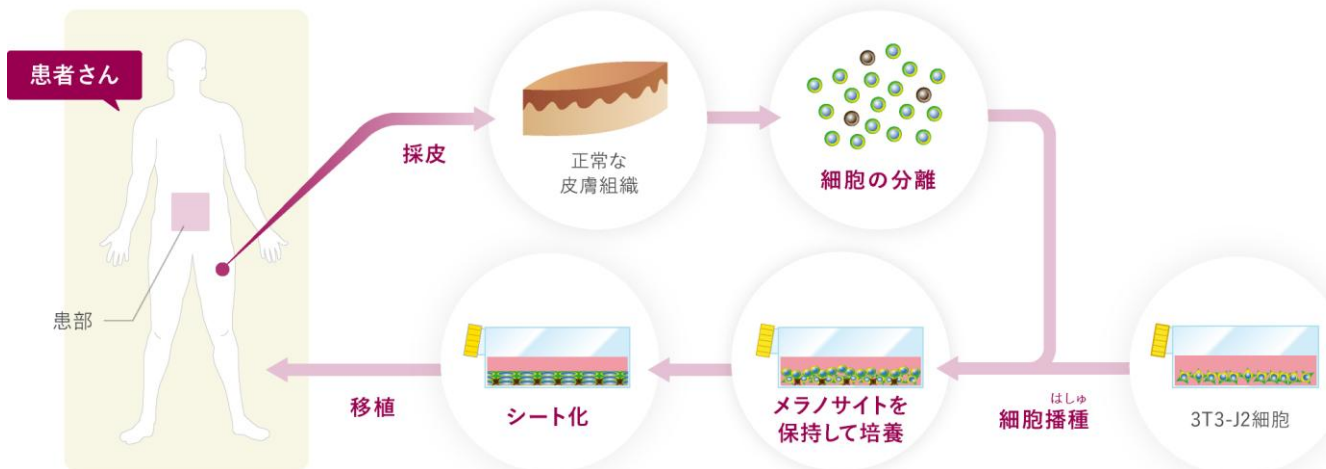
保険償還
価格

① 組織運搬セット：4,460千円

② 培養表皮パッケージ：154千円 / 枚

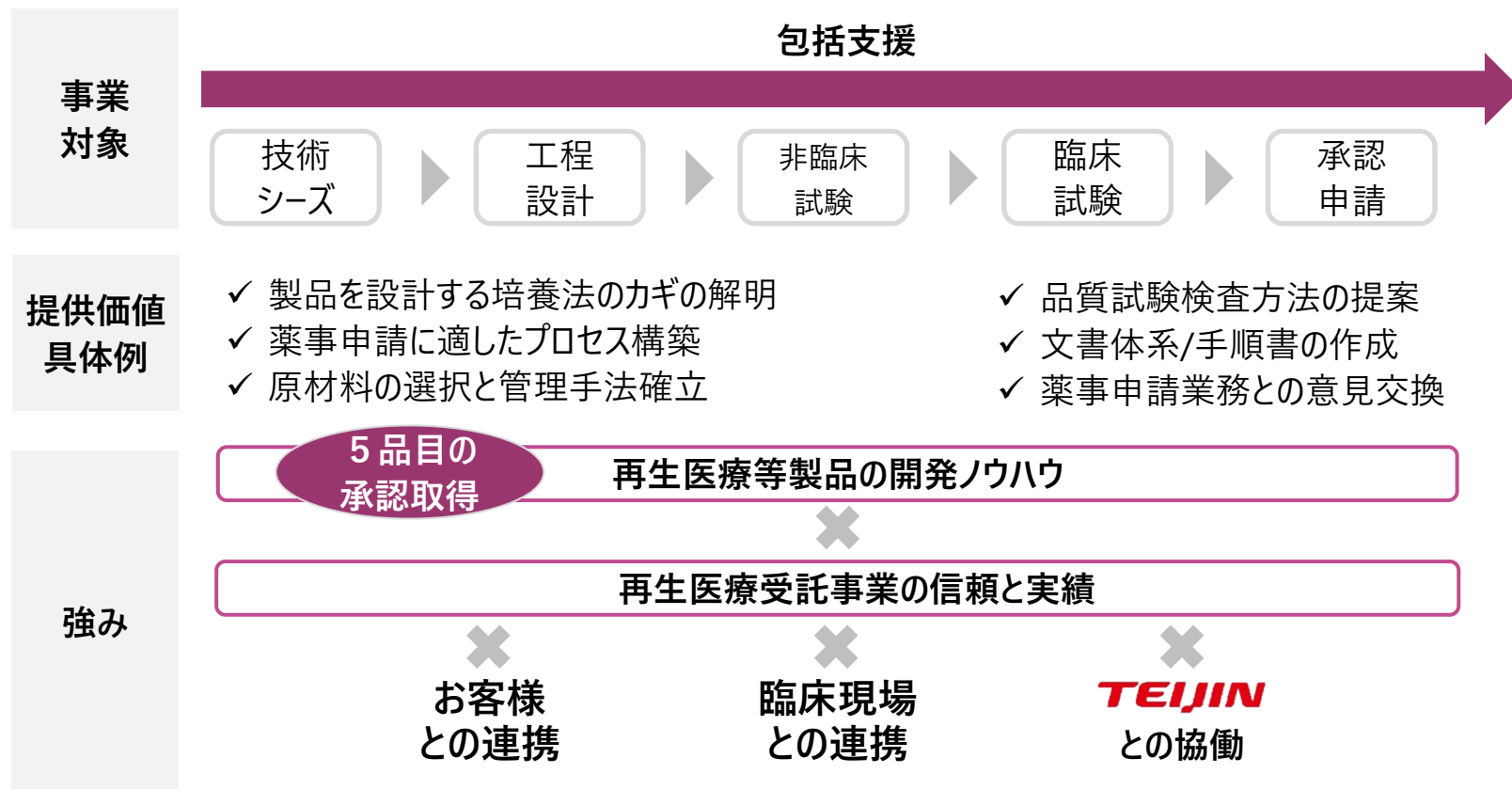
技術導入元

伊モデナ大学 G Pellegrini教授・M De Luca教授



再生医療受託事業のビジネスモデル

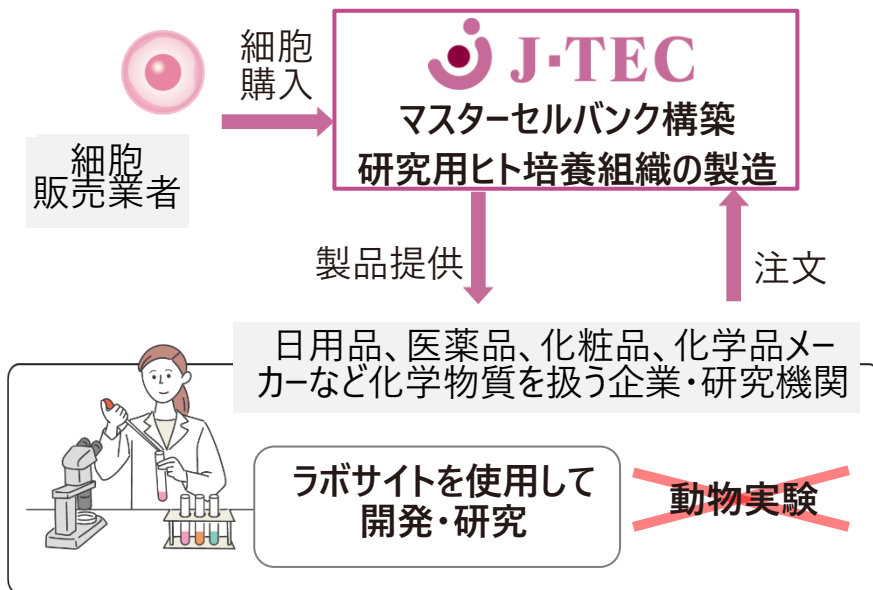
- ✓ これまでのノウハウを生かし、**包括的に支援する**受託サービスを通じ、**産業全体の拡大・発展に寄与**



ラボサイト事業のビジネスモデル

- ✓ 再生医療等製品の開発で蓄積した高度な培養技術を応用して、研究用ヒト培養組織「ラボサイトシリーズ」を販売
- ✓ 3次元構造を有するヒト培養組織であり、**外用医薬品や化粧品**の開発、**皮膚や角膜等を用いた基礎研究**に使用
- ✓ **世界初、ヒト3次元培養表皮モデルを用いた皮膚感作性試験法が標準化**
- ✓ 動物愛護の観点からの世界的な**動物実験代替**の潮流にも対応

流れ



	ラボサイト エピ・モデル	ラボサイト エピ・キット	ラボサイト 角膜モデル
製品	ヒト3次元培養表皮	ヒト表皮モデル作製キット	ヒト3次元培養角膜上皮
OECD テストガイド ライン収載	皮膚刺激性試験 (TG439) 皮膚腐食性試験 (TG431) 皮膚感作性試験 (TG442D)	—	眼刺激性試験 (TG492)
ISO	医療機器の皮膚刺激性試験法 (ISO10993-23)	—	—
販売開始	2005年3月	2013年4月	2010年7月

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp